

様式3

子育てコリドーの推進

亀岡市
駅北エリア

事業の概要・背景

【概要】

■令和2年度に策定した「子育てコリドー」構想の①「ターミナルゾーン(JR亀岡駅周辺)」、②「シティホールゾーン(市役所周辺)」での機能強化を図り、循環型かつ地域ぐるみの子育て環境を更に推進する。「子育てコリドー」については、各ゾーンにおける機能により、子育て世代の「孤独感」や「疎外感」、「不安感」を解消し、子育て世代同士や地域住民が交流を図れる「子育てにやさしいまち」を広報・周知するとともに、シンボル事業として各ゾーンにおいて「子育てフェスタ」を開催し、各ゾーンの位置付けを市民に周知してきた。今後は、「子育てコリドー」の拡充を検討・模索する。

■令和4年度に「子どもファースト」を宣言したことから、「子どもファースト事業」を始めとする各事業を広報・周知し、「子育てコリドー」構想の継続的推進及び循環型かつ地域ぐるみの子育て環境を更に推進する。

【背景】

本市は、子どもを産んでから市内に転入する子育て世帯が多いことから、新たに転入する子育て世帯が孤立感や疎外感を持たずに、地域に順応して子育てができる環境づくりが必要である。また、市内在住の子育て世帯にとっても、核家族化や過疎高齢化等により、コミュニティが果たしてきた子育てを支援する機能の低下が懸念される中で、育児不安を解消するための方策が必要である。

主な事業

◇: 交付対象事業
◆: 関連事業

- ◇ サンガスタジアムまるごと子育てフェスタ開催
- ◇ BCome+の子育て世代に優しい施設機能充実事業

成果指標

- 子育て相談件数
- 木育ひろば利用者
- 子ども人口数(0~14歳)

令和3年度
(基準値)

3,824件

0人

10,733人

令和12年度
(目標値)

4,500件

50,000人

10,733人

エリア一体で取り組むポイント

ポイント

スタジアムを核としたまちづくりを進めるなかで、子育て支援施設を結節点に「ターミナルゾーン」「市役所ゾーン」等が一体となったまちづくりの拡充

- ターミナルゾーンでは、スタジアム内に新たに「木育ひろば」を開設することにより、幼児期以降の子どもたちがスポーツに親しむエリアとしてより身近に感じられる空間とし、子育て世帯が日常的に憩える機能を拡充する。
- 子育てに関する窓口機能を担う「シティホールゾーン」では、子育て世代包括支援センター等の子育てワンストップ窓口を集約した「BCome+」のこどもトイレ、おむつ替え室等ある多目的トイレを改修し利便を向上させる。さらに、BCome+でターミナルゾーンの「木育ひろば」利用者向けの情報を発信することでゾーン間の連携を図り、「子育てにやさしいまちづくり」を進める。

